帯広市立翔陽中学校　学校だより NO.3

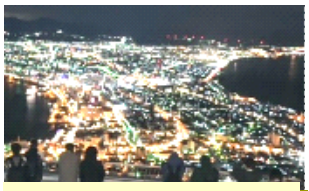
翔陽

令和７年６月５日（木）
帯広市立翔陽中学校
校長　大泉　昭人
TEL　24－3121
ホームページはこちら　→
翔陽中HP

《学校教育目標》 豊かな心で　たくましく　意欲をもって　希望(ゆめ)を叶えよ　《今年度スローガン》 揺るぎない翔陽プライドの確立

笑顔輝く修学旅行

【気づきと対話、集団としての高まりへ】



<函館の夜景> 澄んだ春の空気で、最高の夜景でした。

「**さらなる高みへ～Grow Up**」をテーマに、「学び、楽しむ、そんな「修楽旅行」にしよう」(実行委員長あいさつ)と、実行委員会を中心に準備してきました。年度替わりの慌ただしい中でしたが、生徒たちは短い期間で力を合わせ、この日を迎えました。

函館は好天に恵まれ、生徒たちは美しい夜景に感動していました。また、道南や道央での自主研修や自然体験を通して、自然・文化・歴史に触れ、郷土帯広を見直す機会として、仲間と協力しながら学んできました。

<函館見学・自主研修>
好天に恵まれ、歴史ある施設や、自然、食、文化を見学・体験しました。

<ルスツで絶叫>
絶叫マシン初体験の生徒も多くいました。果敢に挑戦していましたが、降車後に足の震えが止まらない人も。

元気なあいさつをして、集合時間を守り、はっきりと話し・しっかりと聞く姿に、現地の方や関係者からお褒めの声をいただきました。また、毎日の振り返りでは、「社会の一員として、公共の場ではどのような言動が大切なのか」など、気づいたことを交流し、実行しようと努力していました。翔陽プライドを胸に**「挑戦する、仲間を大切に、元気に笑顔で、主体的に行動する」**３年生の姿は、爽やかで直向きでした。そして、お互いを高め合いながら、元気に帰って来ることができました。まさに、日頃の学びを修める（修学）旅行をみんなが主役となって作り上げました。

保護者の皆様には準備、送迎等のご協力、ご理解をいただき、本当にありがとうございました。旅行の様子は、３年生保護者には「楽メ」にてお伝えしましたが、ホームページ「日記」にも概要を掲載しています。

<ニセコの大自然を満喫>
ラフティングを体験。羊蹄山を横に、新緑の美しい景色の中、雪解けで増水した尻別川を下りました。みんなずぶ濡れで大はしゃぎ！

旅行記（スナップ）　(5／11～14)

<1日目> 5／11(日)
翔陽中出発⇒五稜郭⇒湯の川温泉⇒函館山夜景

<五稜郭>
武田斐三郎先生にあやかりたい！

<2日目> 5／12（月）
湯の川温泉⇒函館自主研修⇒ルスツ

ニセコでラフティング

<3日目> 5／13(火)
ルスツリゾート⇒
ニセコ自然体験⇒小樽

小樽　自主研修

<4日目> 5／14（水）
小樽運河⇒
小樽・札幌自主研修⇒帯広到着

<Grow Up の瞬間>　(旅行団長・校長のつぶやき)

「社会の一員として、学年の一人として、お互いに楽しく、より良い旅行にするにはどうしたらいいのか」毎日、生徒たちは振り返り、話し合いました。自分たちで課題を見つけ、話し合って解決していこうとする姿、変わろうと努力する姿がとても印象的で立派でした。予測困難な時代でも、たとえ困難な状況でも、最善策を仲間と協働して創り出す。未来を生きる生徒たちのたくましい姿を想像しました。

6月行事予定

６月６日（金）	教育相談~11日
７日（土）	全十勝春季大会（卓球、バレー） 全十勝中学校対抗陸上~8日
８日（日）	全十勝春季大会（野球、バスケ、バレー、テニス）
９日（月）	はばたき学習クラブ放課後版~11日
１２日（木）	前期中間テスト　中体連壮行会
１３日（金）	尿検査（1次）
１４日（土）	全十勝春季大会（野球、バスケ）~15日 帯広市夏季大会（卓球）~15日
１５日（日）	開校記念日
１７日（火）	浴衣の着付け教室（1年）~20日
１８日（水）	学力テスト（3年）
１９日（木）	帯広市合同陸上（8組）　内科検診（2年）
２１日（土）	帯広市夏季大会 （野球、サッカー、テニス、バドミントン）~22日
２３日（月）	防犯教室（2年）
２４日（火）	生徒会各委員会
２５日（水）	尿検査（2次）　進路学習会（3年）
２６日（木）	内科検診（3年）
２８日（土）	全十勝夏季大会（野球）~7月6日 帯広市夏季大会（バスケ~29日、バレー） 通信陸上大会~29日
２９日（日）	全十勝夏季大会（新体操）

※　変更がある場合は「楽メ」でお知らせします。

健闘讃え合う体育祭

「頑張ることは格好いい！」

＜開会式＞
力強く選手宣誓

５月31日（土）**「頂～今、ここでしか創れない伝説を」**のテーマのもと、第15回体育祭が開催されました。１･２年生は、新しいクラスメイトで挑む、初めての行事となり、３年生は中学校最後の体育祭となりました。

＜ALL FOR SHOYO＞
３年男子、力強い馬場
⇒激流下り⇒旗を頂へ

生徒の感想を見ると、苦手なことでも果敢に挑戦する級友の姿からは**「勇気」**をもらい、痛くても、大変でも、皆を労り、励まし、精一杯取り組む級友の姿からは**「愛情」**をもらっていたようです。そして、先輩の**「本気」**に強く刺激されたようでした。

⇒ 激流下りへ

時にぶつかりながらも、話し合って共感したり、心のぬくもりや情熱にふれあったりしたことなど、仲間との「密」な関わりを通して生まれた各クラスでのドラマが特に心に残ったようでした。

開催に伴い、ＰＴＡの皆様のご支援、地域施設の駐車場の借用、家庭でのご理解とご協力など、多くの支えによりこの日を迎えられたことを感謝しております。

＜大縄とび＞　学年が上がる毎にレベルアップする種目、心を一つに跳ぶ３年生

「頑張ることは格好いい！」ことを体現し、チームのために仲間と流す汗、こぼれる笑顔は、眩しく輝いていました。一人一人が役割を果たそうと努力し、励まし合い、力を合わせて作り上げた体育祭は全員が主役でした。

保護者の皆様には洗濯や準備、励ましやけが等の対応など、本当にありがとうございました。子どもたちは挑戦することや仲間と関わることを通して、自分や仲間のことを深く考える機会となりました。体育祭の様子は、学級通信等で詳しく紹介していますが、これからの子どもたちの姿をご覧いただき、懇談会等で感想をいただけると幸いです。

＜健闘を讃える＞　仲間と健闘を讃え合う３年生

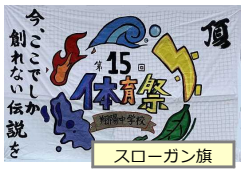
奮闘記（スナップ）

□ 伝統演目「翔陽四季」

翔陽四季

全校縦割りでの練習を通し、上級生は下級生の役に立ったと感じ、下級生は自分もあんな上級生になりたいとあこがれの気持ちをもったようでした。上級生と下級生がつながり、共に高め合う翔陽中伝統の演目です。

□ 学級旗、スローガン旗



スローガン旗

各学級の個性が光る学級旗、生徒会のスローガン旗からは、体育祭にかける熱い意気込みが伝わってきます。

□ 団体種目

大縄跳び

生徒たちは、個々の力だけでは勝てない団体種目に挑戦し、練習を重ね、お互いに心を近づけながら上手になっていきました。特に、全学年共通の競技「激流下り」、「大縄跳び」では、学年が上がるほどレベルアップしていき、中学校３年間の成長が伝わってきました。

激流下り

□ 全員が主役

生徒たちは、練習も本番も競技以外のことも、自分に出来ることを考え、みんなの役に立とうと行動していました。懸命な姿、仲間を励ます姿、他学級を応援する姿、お互いの健闘を讃え合う姿が光る体育祭でした。

＜みんなで頂を目指したからこそ＞　（校長あいさつより）

（表彰式を終えて）勝負事は必ず勝ち負けがつきます。

ただ、みなさんがいま感じている嬉しさ、悔しさ、お互いを讃える気持ちは、一生懸命やった人が得られる大切な感情です。この経験を仲間と一緒に味わったということが一番大切だと思っています。

体育祭期間中、きっと、みなさんは「自分に出来ることは何か」、「みんなの役に立つにはどうしたらいいか」を考えることが多かったのではないでしょうか。

お互いを認め合い、力を合わせることで、困難なことも一つ一つクリアできるという経験や、仲間と味わう嬉しさや悔しさという感動は、必ず将来、みなさんが「挑戦する」ときの大きな力になると思います。

「全員が主役」の体育祭、「頑張る姿は格好よかった」「心を一つに揃える姿は素敵でした」心から拍手を送ります。

□ 観覧スペース（応援スペース）

観覧スペース

今年度も、最前列に「観覧スペース」を設置し、子どもが出場する種目毎に保護者が入れ替わり、参観・応援していただくスタイルでした。（放送やPTA総務部の声かけにご協力いただき、スムーズな移動ありがとうございました）保護者の皆さんの熱い応援で生徒たちはかいっぱい競技することが出来ました。（PTA総務部の呼びかけで、学級カラーのグッズ（うちわやメガホン、Tシャツ等）を身につけて応援してくれた学級もありました）ありがとうございました。保護者同士のつながりも子どもに負けないくらい強くなったのではないでしょうか。

□ 駐車場

今年度も、ジョイフルAK、コープさっぽろ、保健福祉センター、柏小のご協力により、駐車場をお借りしました。ありがとうございました。

駐車場

□ 写真撮影

ＰＴＡ広報部のご協力で行いました。今後の広報誌に掲載する予定です。企画会議から当日の撮影まで、本当にありがとうございました。

□ 環境整備

花壇整備

5月24日、ＰＴＡ事業部と有志（生徒含め33名）で玄関前の花壇整備を行いました。お陰様で、体育祭には綺麗な花が咲きました。ありがとうございました。（グリーンクラブの皆さんが、適宜、水やりなどの手入れをしてくれています）